広報 Tanko is a public information magazine.

たんこう

2012
11月
No.98

安心のネットワーク NOSAI

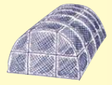
主な内容

園芸施設共済の責任開始日を統一します
シーズンオフの農機具の手入れと保管
NOSAI胆江少年野球大会行われる

園芸施設（ハウス）共済

冬将軍！強風や大雪への備えは万全ですか？

日頃から災害に備えましょう！



1. ビニールが雪の重みでたるんで滑りおちにくくなるので雪降ろしを行う
2. 隣の棟との通路に積もった雪を取り除く
3. 強風によるあおられ防止のため取付金属の締め直し
   妻面の補強をし、筋かい、補強支柱などを準備しておく
4. 強風の後は、ゆるみ破損などを点検し速やかに補修する
5. **万が一に備え園芸施設共済へ加入**

補償期間は

被覆（栽培）する期間に応じて
2ヶ月から12ヶ月まで加入できます

補償額は

施設本体、附帯施設とも時価補償額になります

パイプハウス・附帯施設の時価現有率

1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上
100%	84%	68%	52%	36%	20%

ビニールの被覆経過割合

	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上
一般軟質	100%	50%	25%		
耐久性軟質	100%	71%	50%	35%	25%

対象となる災害

（時価額の1割以上の損害または3万円以上より支払われます）

掛金は掛け捨てではありません

3年間継続加入で、無事故または被害が少なかった方に対して3ヶ年分の掛金総額（純掛金）の2分の1を限度として、無事戻し金が支払われます。

共済加入で安心を!!

補償期間内であれば全損になるまで
何回でも補償します！

※1回の事故ごとに修復したものに限ります

加入者の方へ、被害発生時にはすぐTELを!

- ご加入されたハウスに被害が発生した場合（多少に関わらず）には、損害評価が必要となりますので、速やかにご連絡ください。
- 被害発生の連絡がなく修復等された場合や、被害報告が遅れた場合、共済金の支払いができない場合がございます。

詳しくは果樹園芸課　TEL25−6884　まで

重要

平成25年4月から園芸施設共済の責任開始日を統一します

1、責任開始日

保険が適用になる責任開始日は毎月1日、10日、20日を予定しています。
＊ただし、4月1日は除き、3月31日を責任開始日とします。

2、加入期間

継続加入…（一年加入＝12ケ月加入）24年度加入申込書より終期日を調整し、継続。
短期加入…（一年未満の期間加入＝2ヶ月～11ヶ月加入）

3、責任開始日

25年3月30日まで⇒　掛金納入月日の翌日より責任開始
25年4月1日より　⇒　掛金を納入後、最初の責任開始日からの責任開始

加入例

平成25年4月1日より

掛金納付日	1日～9日の間に掛金を納付した場合	10日～19日の間に掛金を納付した場合	20日～月末の間に掛金を納付した場合
責任開始日	納付月の10日から責任開始となります	納付月の20日から責任開始となります	納付月の翌月1日から責任開始となります

※例えば、3日に納付して、8日に事故にあった場合、責任開始は10日からですので、適応されません。

改正のポイント：掛金納入がされても責任開始日までの事故につきましては共済事故になりません

平成25年度の園芸施設共済加入を予定されている方々につきましては、申込書提出時、対象物件の責任開始日にご注意願います

シーズンオフの農機具の手入れと保管

及川 章さん

今シーズンの農作業も終盤を迎え、頑張った我が家の農機具が休眠する季節となりました。そこで、冬期間の農機具（主にトラクターやバインダー、コンバインなど）の保管方法とメンテナンスを奥州市江刺区田原のアグリメンテナンス代表　及川章さん(62)に聞きました。左のトラクターのメンテナンス図解を参考に、真冬の前にしっかりメンテナンスを行い、来シーズンの故障や事故を減らし、快適な農作業を行いましょう。

秋季の農作業終了後、大事な農機具は、**きれいに洗浄し、乾燥の後**下記の点に注意し、手入れと保管を行いましょう。

Point

冬期間は自然放電を防ぐため、バッテリーの接続部分を外しましょう。
感電に注意してください。

Point

ユニバーサルジョイントなど露出している動力接続部分は異物やゴミを除去し、グリスの注入やオイルを注油します。

Point

ロータリーの爪は、洗浄し乾燥した後、緩みや磨耗をチェックし、オイルなどを塗布し、防錆を図りましょう。

Point

ラジエータの水量を確認しましょう。
クーラントは年1回補充するように心がけましょう。

Point

ゲージでエンジンオイルの確認をしましょう。

オイルは補充ではなく、全交換を行いましょう。

Point

タイヤの空気圧を確認。適正空気圧はタイヤ自体に刻印されています。その他、タイヤの劣化など注意します。

最後に図解の通り、洗浄と手入れを行った農機具は、
❶屋根のあること、❷床面が乾燥していること、
❸藁やゴミ、雑草などが無いこと、
以上を満たす保管場所に収納しましょう。故障箇所は冬季間に整備を実施してください。

保管と手入れのポイント

保管と手入れのポイントを整理しました。もう一度確認しましょう。

❶ 洗浄

農機具の洗浄は外見の点検を兼ねて行う。洗浄は大切なことだが、ワイヤー部分の根元から水が入らないように注意する。水が入りワイヤーが作動しなくなる場合がある。また、電装品が濡れないように注意する。洗浄後はすぐに格納せず、十分乾燥させること。

❷ ガソリンエンジン

保管上燃料タンクを満杯にするか㈱、逆に空にすること。また、コックを閉め、エンジンを始動してキャブレターの燃料を使い切ること。キャブレターのガソリンが揮発したあとの残渣（ざんし）が来年の始動の際、故障を生じる。春先における農機具の故障の90パーセント近くがこの原因によるもの。また、長期間放置するので、燃料タンクやガソリン缶に漏れは無いか確認しておくと良い。

㈱震災の教訓から、法定上可能な限り、十分な燃料を確保しておく事も重要。

❸ ディーゼルエンジン

冬季に農機具を使用する場合、特にディーゼルエンジンは夏用と冬用で軽油の質が異なる。夏用を冬に使用するとエンジンが始動しない現象が発生する。冬用を夏に使うのはかまわない。

❹ オイル交換など

オイル交換は年1回を標準とする。シーズンオフにオイル交換を行う。使ったままのオイルで一冬放置すると不純物が沈殿し故障の原因となる。

2～3年に1度、オイルフィルターや燃料フィルターの交換を行う。クーラント液の補充を行う。

数年間交換しなかったオイル（左）と交換時点のきれいなオイル（右）。農機具も自動車同様にこまめなオイル交換が寿命を延ばします。

❺ バッテリーの保管

冬季間バッテリーは充電の後、外して保管するのが良い。そのままにしておくと放電する可能性がある。

❻ 注油

注油は洗浄後、十分乾燥させ、取扱説明書を参考に、冬の保管前に行うこと。油が馴染（なじ）むまで時間がかかるので、春に注油しても効果は薄い。また、ロータリーの爪など非塗装部分は、防錆（ぼうせい）を目的に、オイル等を塗布すると良い。

❼ 保管について

雨風に当たらない、乾燥した場所に保管すること。機械小屋など屋根の下が良い。また、近年の農機具はマイコン内蔵のため、電気関連も湿気に注意を払う必要がある。

ビニールハウス内は日光により、プラスチック部品が劣化するので保管場所に適さない。また、屋外でシートをかけ保管することも良くない。シート内に湿気がこもり、機械内部まで腐食する恐れがある。乾燥している場所でも藁（わら）などの近くに置かない事。ネズミによる回線切断の可能性がある。

設置型の調整機などもネズミによる回線切断が発生する場合がある。市販のネズミ取りなどを活用するほか、明るい場所に置き、侵入口などへカバーを徹底する。

❽ その他

農機具の手入れ方法はメーカー、機種により差があります。取扱説明書を参考に各自工夫してください。

農機具の故障を発見したならば、冬季間に修理しましょう。長い間使わずに保管するので、忘れてしまいます。春作業直前に慌てることの無いように処置をしましょう。

※ご注意

・農機具共済は、共済目的に存在する欠陥、磨耗、腐食、さび、その他自然消耗の損害、消耗部品の損害による波及損害に対しては共済金のお支払いはできません。
・日常の点検整備不良、管理不良による損害は共済金をお支払いできません。

農機具共済については
建物農機具課
TEL 25-6884
まで

rosai-tanke 2012.11

第9回

NOSAI胆江 少年野球大会

前沢クラブ（前沢区）

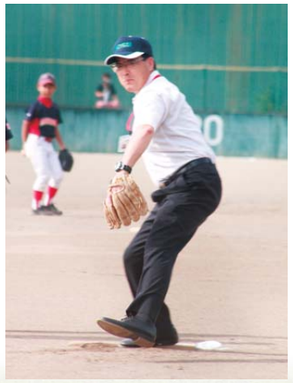
稲瀬スポーツ少年団（江刺区）

米里野球スポーツ少年団（江刺区）

SUS少年野球団（前沢区）

ISAWAオールスターズ（胆沢区）

US水沢ファイターズ&姉体（水沢区）

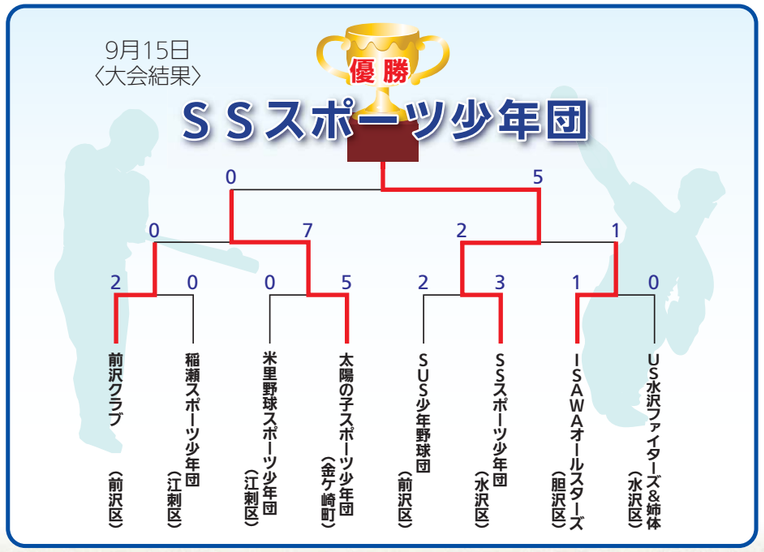

始球式に臨んだ菊地組合長

選手宣誓を行った佐々木一朗君
（SSスポーツ少年団主将）

太陽の子スポーツ少年団（金ケ崎町）

SSスポーツ少年団（水沢区）

優秀選手 藤原大樹君（太陽の子スポーツ少年団）／最優秀選手 佐々木一朗君（SSスポーツ少年団）



残暑の中、走って投げて！

9月15日（土）、水沢サンスポーツランド野球場にて、「第9回NOSAI胆江少年（学童）野球大会」を開催しました。

この大会は、未来を担う少年たちの健やかな成長と、野球というチームワークを尊重するスポーツを通じて、友を思いやる心を育み規律を尊び、秩序を守る生活態度や習慣を養うことを目的としており、今年で9回目をむかえました。

大会は、胆江地区のスポーツ少年団本部から推薦された8チームによるトーナメント方式で行われました。多くの応援団が詰め掛ける中、子供たちは白球を追いかけ、ファインプレーを繰り広げました。激戦の結果、水沢区のSSスポーツ少年団が優勝しました。

社会福祉法人 もみじ会 もみじ保育園

10月5日 ノーサイくん日記

きょうは、おそらがゴロゴロなってたし、あめだから、おうちのなかであそんだよ!ちいさいおともだちもいっぱいいたよ。みんなとこんちゅうのダンスをおどったよ。ボクは“うし”だけどがんばってカマキリをやってみたよ。すこしはにてるかな??またあそびにいくね。

奥州市水沢区字水山
園　長　熊谷　敏子さん
園児数　105名

奥州市立 南都田幼稚園

10月9日 ノーサイくん日記

きょうはおそとであそんだよ。みんなげんきにはしっていたね!すべりだいのかいだんをあがろうとしたけど、ボクはおおきすぎてだめだったよ。みんな、やさしいおともだちだったよ。こんどいくときもいっしょにあそぼうねえ!!

奥州市胆沢区南都田字塚田
園　長　村上　幸子さん
園児数　66名

善意の一本、10年目へ 計92,737本に！

今年も「タオル一本運動」を行います！

NOSAI胆江女性の会の主な活動である、タオル一本運動は、平成14年に始まりました。各支部の組織を挙げた活動によって、年平均約9,000本、多いときで12,000本以上。昨年度はみなさんの善意で10,907本が集まりました。

活動開始から昨年までの合計は92,737本にも上り、毎年多くの福祉施設に届けてきました。

陸前高田市高田西部共済部長協議会会長及川脩氏(中央)へタオルの寄贈を行う。右から菊地組合長、石川前会長、及川氏、松本前副会長、後藤前参事(平成23年度)

有効に活用

管内のある老人福祉施設で使用されるタオルの使用量は1日1人当たり平均7本以上といわれています。仮に入所者の方が50人とした場合、単純計算で1日350本、年間で述べ127,750本も使用する計算となり、タオルはかなりの量が必要とされています。

毎日使われるタオルは、NOSAIからの寄贈分はすぐに使用し尽くし、それ以上に購入している現状と言われています。

施設では「タオルの種類は問わない。色は白に限らず、柄物も使い道がある」との声があります。実は、色つきのタオルも、用途で区別するなど必要とされているのです。使用品以外全て、有益な用途があるのです。

今年の予定

タオル一本運動は、女性の会の会員を通じてお願いするほか、直接、組合でも受け付けます。

11月15日(水沢区・前沢区・胆沢区・衣川区)11月16日(江刺区・金ケ崎町)の外務日にそれぞれの地区の共済部長(女性の会会員宅)さん宅を訪問します。

皆さんの家庭で、使用していないタオルで結構です。一本のタオルでも心待ちにしている方がいます。管内の皆様の善意のご協力を尚一層お願いします。

集まったそれぞれの家庭の「善意」(平成23年度女性の会ふれあい作品展で展示)

未使用であれば形や色は問いません

お問い合せ　普及情報課
TEL 25-6631

第18回

古老に聴く！

前沢区平小路

鈴木　永二さん(101)

「水害には悩まされた」

―と話す

▲カスリン台風、アイオン台風被災時の水位を示す看板

農村に馬は欠かせなかった▶
（戦時中の絵葉書より）

前沢区平小路在住の鈴木永二さん（101）は、明治44年（1911年）9月に前沢区大袋の農家に生まれました。29歳のとき、分家で現在地に居を構えて今に至ります。

「百姓仕事だけは、食べるため一生懸命やった」と鈴木さん。農繁期は朝2時に起床。実家近くの水田に片道50分かけ馬を引いて通いました。朝の草刈をして帰ってくると日が昇る。通りがけの豆腐屋さん（豆腐屋は早起きの職業）が「永つあんが行けば私も起きる」と言ったほど、勤勉な生活だったそうです。

馬を飼育していたほか、作業用に馬車を持っており、自分の水田だけでは仕事が少ないので、実家などへ手間取りに行く事も多かったそうです。

農業一筋の人生で最大の難関は幾度も襲った台風でした。水田は手作業で補強していたので台風の度に破壊され、作物が全滅する事もしばしば。昭和40年代に高速道路工事で水田買収が持ち上がるまで苦労が続いたそうです。

「台風といえばカスリン、アイオン台風（昭和22～23年）がひどかった」と鈴木さん。水増しになり、家の床以上に水量が増大すると、畳を重ねて床のかさ上げをしたり、屋根に味噌樽や箪笥などを上げてしのいだ事も。あまりに酷いときは街中の商家に避難したこともあるそうです。困ったのは馬で、馬小屋に水が入ると床の肥ごと馬が浮かび、ひっくり返る事もあったので、時期を見て早めに避難させる必要がありました。（注・厩にある敷藁のほか、馬糞には藁が多くふくまれるため浮力が発生したと思われる）

明治の終わりに生まれ今年で101歳。「趣味は仕事」と家族に言われるほど頑張った鈴木さんです。

戦前の農村風景（当時の絵葉書より）

農の営み

江刺区藤里
藤里りんご生産組合
小沢篤組合長

獣害対策に光明！ 思わぬ物が解決のカギに

「リンゴへの獣害のほか、園地内でクマに遭遇することもあり、従業員の身の安全確保を心配している」と話すのは江刺区藤里の「藤里りんご生産組合」小沢篤組合長。

同組合ではリンゴ15ヘクタールを栽培し、構成員・パートなど20人を雇用。園地は国道456号線から約5キロ入り込んだ、民家から離れた山中にある。園地の周囲に張り巡らしている金網の隙間や穴からタヌキやクマ、ハクビシンが侵入するようになり、食害に悩まされていた。

クマなどの出現には奥州市役所に駆除を依頼した事もあるが個体数も増加しており、間に合わないと感じていた。

「極力自然と共生し、殺生はしたくない」との思いもあった小沢組合長は、森林組合で野ウサギの食害対策に、鳥もちを樹皮に塗り着けていたことをヒントに、市販の粘着ネズミ捕りシートを活用した対策を思いついた。

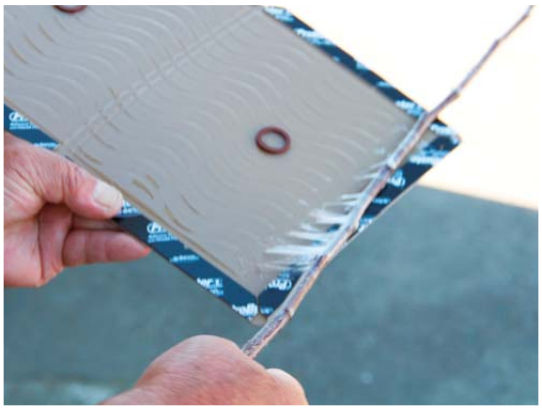
それは、動物が嫌がる程度の粘着物を侵入路に配置するもので、①木の枝に粘着材を付着させ、侵入路に置く②粘着材を柵の上に塗りつける③シートは紐で金網に吊るす。といった簡易な方法。

対策の結果、園地周辺から14ヶ所クマの糞が発見されたものの、内容物からリンゴを食べたと思われるのは設置前に侵入した1ヶ所のみ。「延べ10頭以上が侵入を試みたが失敗したようだ」と小沢組合長は手応えをつかんでいる。

また、クマの侵入経路ともなるタヌキ・ハクビシン対策には、金網下部の隙間や穴に鉄筋を差込み、進路を塞いで粘着物を設置し効果をあげた。この結果、昨年、約20箱分のリンゴに発生した獣害も今年は発生していない。ただし、タヌキは想像以上に活発なので根気強く対応しなければならないという。

粘着ネズミ捕りシートは1枚約100円で300枚を購入。1枚を8分割して使用しており、周囲4500mに延べ2400ケ所設置。効果は数か月持続し経済的とのこと。

小沢組合長は「これからも従業員の安全を確保しながら、自然と共生する方法を模索していきたい」と話す。

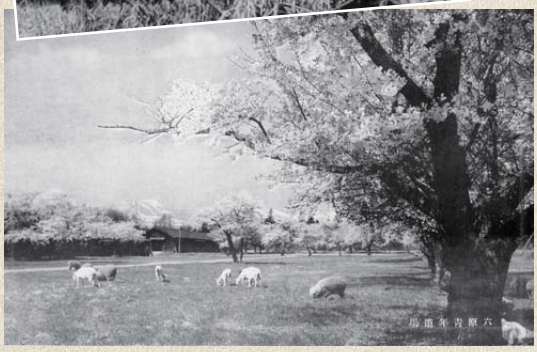

粘着ネズミ捕りの粘着物を枝に絡める

タヌキ、ハクビシンには鉄筋で侵入路を塞ぎ、付近に、残った粘着材を吊るす

「この対策を思いつくまで苦労した」と粘着材を手に語る小沢組合長

われ等が地方の人物と農業 第四回

女子部の「開墾」(六原道場絵葉書より)


桜並木は現在も残る(六原道場絵葉書より)

石黒英彦知事
施米の激励文を読む(1934年)当時の新聞より

女子部の「日本体操」(六原道場絵葉書より)

県知事　石黒英彦
「農村の更正は青年の力で! 岩手県立六原青年道場」

桑島重三郎による軍馬補充部支部誘致で繁栄した六原も、大正の軍縮で、またもとの平凡な農村へと戻りました。しかし、昭和に入ると世界恐慌による不況、連続する冷害に加え、社会の動揺などが岩手県をも容赦なく襲い、農民は大きな不安にさらされていました。

昭和6年12月、混乱する県政と疲弊した農村を立て直すべく、県知事石黒英彦(1884~1945年)が赴任してきました。

石黒は広島県出身の文部官僚で、台湾・朝鮮総督府に勤務。特に朝鮮で齋藤實総督に仕えた経験がある人物です。当時、県知事は内務省の任命制で、石黒は奈良県から赴任しました。辞令を受けると、農村の困窮や冷害の惨禍を聴取し、まずは岩手県内の青年を訓育し、彼等を核とした農村の更生を企画します。

以後、石黒は青年道場の実現に情熱を傾けます。着任早々、県議会に「県立六原青年道場」の建設を提案。私費4千円(現在の価値で約700万円)を寄付し議会の猛反発を抑えます。次いで旧軍馬補充部六原支部の官舎を軍から格安で取得。自身の人脈を駆使し、「日本精神」を伝道する教官を招聘します。早くも昭和7年9月に「岩手県告示第五八九号」で岩手県立六原青年道場が正式に設置されました。

六原道場は日本精神を高揚し、あらゆる困苦欠乏に耐え、大自然を開拓する青年を育成する事を目標としていました。修練生は「みたまぬぐい」という手ぬぐい姿。神道を取り入れた「日本体操」や、独特の開墾方である「天地返し」に加え、一糸乱れぬ団体訓練など、短期講習三週間とはいえ軍隊以上に厳しい訓練が課せられました。しかし、ここを卒業することが農村ではエリートの証になるとあって、市町村推薦で多くの若者が六原道場に学びました。この動きは全国の注目を集め、視察や体験入所が相次ました。

こうした精神教育とは別に、農家副業の確立のため、農畜産物加工品(味噌、醤油、瓶詰・缶詰、ハム、ソーセージなど)、繊維加工品(軍手・軍足製造、洋裁など)、藁加工品、ホームスパンなどの加工製造が行われました。男女共学ではありませんが、女子部が設けられ、農村生活の実際に即した料理講習など農村の家庭生活向上のための教育も行われました。

また、六原道場には、「清明会」という修練生の団体があり、卒業生は各地で支部を設立し、六原で学んだ事を広める役割を担いました。

石黒が転任した後も六原は維持発展され、模範農村部や宮古の海洋道場が設けられ長期間の研修も行われています。

終戦により六原道場は廃止されましたが、農業実践の場として存続。今日、岩手県立農業大学校として農業青年育成の場となっています。

昭和12年6月、石黒は岩手を去ります。在任中は昭和7年、9年の大冷害への対策。特に被災民に実質無償で米を与える「施米断行」や国の救済事業獲得に豪腕を発揮しました。さらに昭和8年三陸大津波の復旧復興。殖産銀行設置による政財界の癒着排除という成果の一方、教育界への過度の介入や、強引とも取られる手法から、現代もなお評価が分かれる人物です。

しかし、農村の疲弊を救済すべく尽力した彼の行動は、今日の人々にも大きな参考となるでしょう。

(取材協力=金ケ崎町中央生涯教育センター)

あたまのたいそう

二重マスの文字を
A～Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

タテのカギ

1 ドクダミなどの、薬の用いる植物
2 美白効果にビタミン○○を摂りましょう
3 沖縄の代表的な野菜。ちょっと苦いです
4 他の事に心がうばわれている様子 うわの○○
5 華麗な動き　素晴らしい○○○○神経です
7 百獣の王といえば?
10 美味しそう。　食品コーナーでちょっと一口つまみ!
12 野球大会の試合前のセレモニー。キャッチャーまでとどくかな? ○○○○式
14 さとうきびから作られた沖縄の特産
16 きれいに○○○でラッピング
17 物事の決着をつける。○○黒つける
19 道端でする説法。○○説法

ヨコのカギ

1 南の島の実のなる木
3 食後の挨拶。○○○○さま
6 暑い夏の○○○○のかけっぱなしは、体を冷やします
8 豪華でかれいな花。コチョウ○○
9 心と体の安らぎ・くつろぎ
11 塩味だけの魚介類のすましじる ○○○汁
13 ○○○錯誤の繰り返し
15 毎日のストレッチで○○○○○アップ!
17 人は交わる友によって、良くの悪くもなる。○○交われば赤くなる
18 飾り気がなく、話し下手な人。○○○○な人柄
20 電流が漏れて流れること
21 家柄や身分よりも育った環境 ○○より育ち

第97号の答え

前号このコーナーの答えは **「みずあそび」** でした。
応募総数はがき67通、Eメール2通、正解69通でした。
たくさんのご応募ありがとうございました。

応募方法

締　切
平成24年12月1日

●官製ハガキに下記事項を記入の上、ご応募ください。
●正解者から抽選で10名に図書カードをさしあげます。

❶〒
❷住所
❸氏名（フリガナ）
❹年齢
❺性別
❻答え
❼みなさんの声に「広報98号を読んだ感想」「NOSAIに対する質問」などご自由にお書きください。

50

023-0023
水沢区字八反町52番地1
NOSAI胆江広報係

●当選者 は次の方々に決まりました

及川憲子さん（水沢区）
手塚ミヨ子さん（水沢区）
今野正敏さん（江刺区）
松本きぬゑさん（江刺区）
菊池文利さん（胆沢区）
加藤一男さん（胆沢区）
長谷川いま子さん（前沢区）
石田一子さん（前沢区）
千葉悦子さん（衣川区）
柏山陽一さん（金ケ崎町）

おめでとうございます

※「あたまのたいそう」等応募によって得られた個人情報は、クイズの賞品の抽選と今後の広報紙作成の参考意見として利用する以外、その他の目的に利用することはありません。

私にも言わせて
私にも教えて

ハガキ Eメール みなさんの声

ごく一部です!

今年も豊作の秋で何よりです。子供達、孫達に送りますが、共に喜んでいます。苦労を苦労とせずに。
（水沢区　小野寺Tさん）

送り、送られるお米の中には様々な思いが詰まっているのだと思います。

女性のふれあい作品展、写真きれいに写っています。本物をぜひ見たいと思いました。
（水沢区　佐々木Kさん）

今年も行いますので、お誘いあってご来場下さい。

私もTPP反対です。なぜかといえば個人経営が難しくなり、外国のものが沢山来るからです。
（江刺区　阿部Aさん）

前回の記事の通り、あらゆる面で日本にとって利益のない協定だとはっきりしてきました。

お米の価格も、もう少し高くなるように願っています。
（前沢区　千田Kさん）

生産にかかったコストは値段に反映されるべきですね。

町民の1人として、六原発展に力を注いだ桑島重三郎の記事を見て感動しました。
（金ケ崎町　及川Sさん）

今回は六原青年道場です。金ケ崎が近代農業史に占める位置は大きいと思います。

「あたまのたいそう」、「みなさんの声」で掲載された方には図書カードをさしあげます。
（NOSAIまたは広報紙「たんこう」から離れた話題も大歓迎です。Eメール（kouhou@nosai-tanko.or.jp）でも受付をしております。）

伝言板 NOSAI Tanko Message board

建物・農機具の事故届は速やかに!

事故が発生したときは、速やかに連絡をお願いします。連絡が遅れたり、損害部分が確認できないと、共済金をお支払できない場合があります。

また、農機具の買い替え等があった場合も届出願います。

詳しくは建物農機具課 TEL25−6884 **まで**

野ネズミ駆除の実施

胆江広域病害虫防除協議会では、水田の野ネズミ駆除を実施します。この駆除で使用する薬剤はメリーネコ りん化亜鉛です。小児やペットが誤食しないよう十分注意してください。万が一、誤食をした場合は、速やかに吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けるなど、適切な処置を受けてください。

実　施　日=平成24年11月23日(金)勤労感謝の日

実 施 場 所=管内の水田圃場

問い合わせ=**胆江広域病害虫防除協議会**

=**事務局**（**胆江地域農業共済組合** **農産課** TEL25−6884**まで**）

書写コンクール・ぬりえコンクール・女性による作品展示会の作品展示のお知らせ

皆様よりご協力いただいております「県内・管内小学校・中学校書写コンクール」、「ぬりえコンクール」、「女性による作品展示会」の作品を展示します。たくさんの方のご来場をお待ちしております。

開　催　日=平成24年12月3日〜9日
(午前9時〜午後4時まで)

開 催 場 所=胆江地域農業共済組合　会議室

詳しくは普及情報課 TEL25−6631 **まで**

家畜の異動報告を忘れずに!!

飼養している家畜に譲渡・導入・出生があった場合、必ず異動報告をお願いします。報告が無く、事故が発生した場合、万が一のとき共済金の減額や、支払い対象にならない場合があります。

異動報告は、当組合が家畜共済加入者に配布した用紙に記入の上、提出していただくか、FAXまたはTELで報告をお願いします。また、獣医師が診療中の家畜を譲渡した場合も、すみやかに当組合と診療担当獣医師に連絡してください。

詳しくは家畜課 TEL25−6909 FAX22-3256 **まで**

平成24年度大豆共励会出品者

区	地区　集落名	氏　　名	品種名
水沢区	佐倉河　第4区	みつくら農事組合法人　代表理事組合長　小野寺 徳巳	リュウホウ
	姉体　上野	姉体上野営農組合　組合長　遠藤 拓男	リュウホウ
	姉体　吹張	農事組合法人姉体営農生産組合　組合長　千葉 榮	リュウホウ
	姉体　吹張	姉体南方営農組合　組合長　及川 忠郎	リュウホウ
	黒石　二渡	二渡農作業受託組合　組合長　阿部 正	リュウホウ
江刺区	岩谷堂　上増沢2	菊地 博明	リュウホウ
	田原　荒井坂	農事組合法人アグリコーポ小田代　代表理事組合長　新田 久治	リュウホウ
	田原　御免	ニューアグリ土谷　組合長　小松 與志夫	リュウホウ
	稲瀬　沼尻	下三照営農組合　組合長　安部 彦二	リュウホウ
	稲瀬　照沢	照沢営農組合　組合長　高橋 旺	リュウホウ
	稲瀬　住吉	住吉営農組合　組合長　広野 隆一	リュウホウ
胆沢区	南都田　20	農事組合法人柳田営農組合　組合長　千葉 幹男	リュウホウ
金ケ崎町	永岡　ニツ谷	高橋 悦朗	リュウホウ

口座振替の実施について

共済掛金納入・共済金支払などに関し、**岩手ふるさと農協、岩手江刺農協、ゆうちょ銀行(郵便局)、岩手銀行、北日本銀行、東北銀行、水沢信用金庫**の口座で取引ができるようになっております。

掛金納入等の口座振替の実施になお一層のご協力をお願いいたします。

詳しくは普及情報課 TEL25−6631 **まで**

～てづくりのあじ～
手造りの味
Vol.34

ピーマンと切干大根の甘酢和え

紹介者

胆沢区食改善推進員協議会のみなさん

作り方

① ピーマンは縦2つに切り、種を抜いて千切りにしてサッと茹でておく。
② 切干大根は、水で戻しておく。
③ ②に熱湯をかけ、熱を通しておく。
④ 酢と砂糖を混ぜておく。
⑤ ①と③を④の甘酢で和えてできあがり。
※お好みでゴマや“たかのつめ”を散らしても美味しいです。

材料 [4人分]

- ピーマン …… 4個
- 切干大根 …… 20g
- 酢 …… 大さじ4
- 砂糖 …… 大さじ3

表紙紹介

リンゴの収穫が最盛期に!（藤里りんご生産組合）

10月15日、江刺区藤里の「藤里りんご生産組合」では江刺が誇るリンゴ、ジョナゴールドの収穫が最盛期を迎えていました。農の営みで紹介したとおり、「あるモノ」でクマ、タヌキなどの撃退に成功し、獣害はまったくなし。さらに今年の酷暑もなんのその。小沢組合長は「今年の出来は最高です。ぜひ、皆さんに味わって欲しい」と話しています。

地域の話題教えて下さい

広報（年6回）、農業共済新聞（月4回）で地域の話題を取り上げます。農業や地域の取組みなど、情報があれば普及情報課広報担当までお寄せ下さい。

TEL 25-6631

農業共済新聞の申込は

胆江地域農業共済組合（NOSAI胆江）普及情報課（25-6631）まで

購読料は毎月420円・年間5,040円のところ、毎月100円を補助!

月額なんと 320円（年間3,840円）でご購読いただけます（週刊）

URL http://www.nosai-tanko.or.jp/
E-mail:kouhou@nosai-tanko.or.jp

編集後記

いきなり寒くなってきましたが、11月の広報をお届けします。今回の「われ等が地方の人物と農業」は元・六原青年道場教官のご子孫の方に貴重な資料を提供していただきました。この場を借りまして、御礼申し上げます。その他、内容盛り沢山です。（北上川のたまちゃん）

■編集・発行／胆江地域農業共済組合 普及情報課 〒023-0023 岩手県奥州市水沢区字八反町52番地1 TEL.0197-25-6631 FAX.0197-22-3256
■印刷／六三ビジネスフォーム株式会社 ■発行／平成24年11月2日

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C011641
VEGETABLE OIL INK
NOSAI胆江は環境保全に取り組んでいます
この広報紙は環境保全と資源有効活用の観点からFSC認証紙（適切な森林管理がされていると認証された森林から収穫された木材）を使用し、〈水なし印刷〉〈植物油インキ〉による環境を考慮した紙面づくりをしています。また、読みやすいユニバーサルデザイン文字を採用しています。